

賛助会員

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (〒272-0014 市川市田尻 3-4-1)

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

株式会社ナボカルコスメティックス (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-29-7)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通 3-1-2 第三建大ビル 10 階)

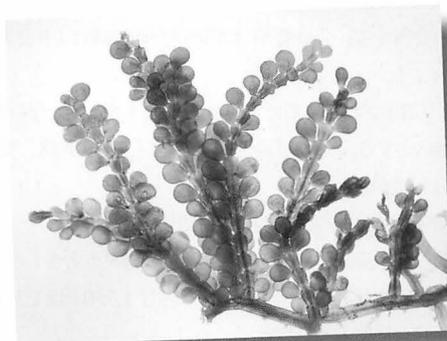
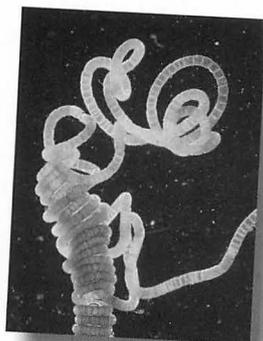
編集後記

藻類 59 巻 1 号が皆様のお手元に届いてから数日後、東京都庁に近い高層ホテルの上層階にいた時に地震が起きました。私のいた建物は無事でしたが、ロビーや屋外は自宅に帰れない人で溢れていました。そのまま東京に一泊しましたが、テレビの生放送で中継される津波の被害に言葉を失い、東北地方の友人の無事を祈りました。

それから数ヶ月たち、復興へ向けた取り組みが各地でおこなわれています。また、津波による沿岸生態系への影響も明らかになってきていますし、原発事故による放射生物質の影響も続いています。一日も早く元の生活、環境、生態系に戻ることを期待していますし、研究者としてできる限りのことを考えています。

最後になりましたが、今回の震災で命を落とされた皆様に哀悼の意を表しますと共に、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

寺田竜太



Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5判上製・総頁1444頁・定価52500円(本体50000円)

本書は淡水における藻類、約1500属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を12分類群に分けるBourrellyの分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約800属所収する。60年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに/凡例/淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引/属名カナ読み索引/和文事項索引/欧文事項索引

新日本海藻誌

—日本産海藻類総覧—

吉田 忠生 著 B5判・総頁1248頁・定価48300円(本体46000円)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、多様な知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

有用海藻誌

海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判・総頁592頁・定価21000円(本体20000円)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても多くの知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の3編31章から構成され、各分野で長く研究にかかわってきた多彩な執筆者が、それぞれの専門分野を詳述する。

小林弘珪藻図鑑

H.Kobayashi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5判・596頁・定価35700円(本体34000円)

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数DAI_{po}, pH耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯著晶子 著 B5判・784頁・定価34650円(本体33000円)

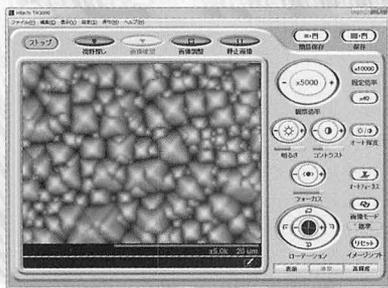
日本のみならず世界各地から約1500のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約1000種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

全世界で1000台以上の出荷実績を持つ
TM-1000の後継機として待望の次世代機登場

日立ハイテック
HITACHI

Miniscope®

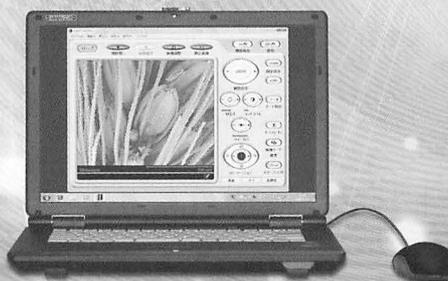
日立卓上顕微鏡 TM3000



TM3000操作画面 (モニターに表示されている画像の試料は太陽電池です)

特長
卓上サイズでコンパクト設計
オート機能でシンプル操作
高倍率で焦点深度の深い*形態観察

*一般的な光学顕微鏡比



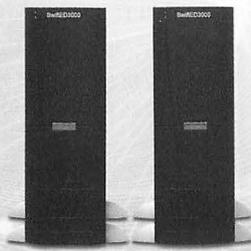
※マニュアルステージ付の外観です

形態観察からスクリーニング分析まで!

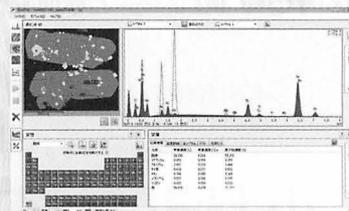
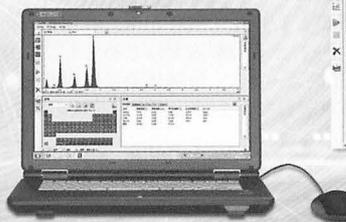
SwiftED3000

TM3000専用エネルギー分散型X線分析装置

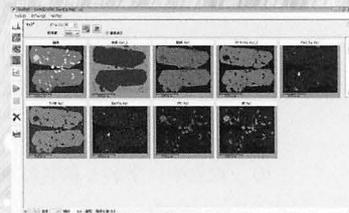
特長
ボロンからの軽元素分析
点分析、線分析、マッピングなど多機能分析
液体窒素不要で、電源投入後数分で使用可能



※TM3000との組み合わせ例 ※検出器内蔵型



点分析/面分析画面



マッピング画面

最先端を、最前線へ。

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン(03)3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

北海道(札幌) (011) 707-3200
四国(高松) (087) 814-9911

東北(仙台) (022) 264-2218
九州(福岡) (092) 778-3015

中部(名古屋) (052) 219-1670
沖縄 (098) 863-8295

関西(大阪) (06) 4807-2552

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

藻類

第 59 巻第 2 号

2011 年 7 月 5 日印刷

2011 年 7 月 10 日発行

© 2011 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

寺田竜太

〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20

鹿児島大学水産学部水産学科

Tel 099-286-4131

Fax 099-286-4133

E-mail terada@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発行所

日本藻類学会

〒 060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学大学院理学研究院自然科学部門

Tel 011-706-2745

Fax 011-706-4851

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第59巻 第2号 2011年7月10日

目次

寺田竜太・川井浩史・田中次郎・倉島 彰・坂西芳彦・村瀬 昇・吉田吾郎・横井謙一・中川雅博・佐々木美貴： 環境省モニタリングサイト 1000 における藻場の長期モニタリング	93
藻類学最前線	
丸山真一郎：ラピモナズとビリ藻類 新発見の大系統と二次共生色素体の起源を巡って	97
北山太樹：東日本大震災による岩手県での海藻標本被災状況	101
日本藻類学会第 35 回大会開催記・参加記	
渡邊 信：大会開催をふりかえって	104
櫻井克聡：藻類学ワークショップ 2「藻類採集観察会」に参加して	107
書評・新刊紹介	
村上明男：クロロフィル —構造・反応・機能—(三室 守・垣谷俊昭・民秋 均著)	108
会員のページ	110
英文誌 (Phycological Research) 58 巻 3・4 号和文要旨	112
学会録事, 他	117
日本藻類学会の東日本大震災への対応	121
日本藻類学会第 36 回大会 (2012 年, 札幌) のご案内	122
会員異動	123
学会シンポジウム情報	125
投稿案内	127
会則	129
コラム【遊藻子】編集部：藻場生態系保全活動ハンドブック	108
コラム【遊藻子】寺田竜太：現代によみがえる海松文の陶磁器	109
【藻見遊山】北山太樹：科博 NEWS 展示「東日本大震災被災標本のレスキュー活動」	
第 1 部 海藻標本のレスキュー活動	110